

強化指定選手行動規範

一般社団法人日本知的障がい者卓球連盟

本連盟は国際オープン大会に選手を派遣する際、個人戦と団体戦にも出場します。選手は、連盟コーチが発表(IFパラのルール順守)したメンバーでチームを編成することになります。

その際、「健康上に問題がない限り」、日本代表として出場しますので、日ごろから、健康に留意し、研鑽を重ね、高い目標に向かって挑戦し、下記の行動規範を遵守すること。

1. 責任感

日本代表としての誇りと自覚を持ち、応援していただいている関係者の方々の期待に応えるべく競技活動に集中する。そして、一人の人間としても社会の規範となる行動を心がける。

2. 規律

(1) 時間厳守

(2) 国外でも国内でも挨拶をしっかりと行う。

(3) 合宿、大会期間中に宿舎の外出は、原則禁止する。やむを得ず必要な場合のみ必ずスタッフの了解を得るものとし、スタッフより定められた門限を遵守する。なお、選手の単独での外出は禁止する。

(4) 合宿・大会期間中、選手の喫煙・飲酒は禁止する。

(5) 合宿・大会期間中の宿舎において、男女間の部屋の行き来、競技関係者以外との不要な接触は禁止とする。

(6) その他、各カテゴリーの監督が定めた指示事項を遵守する。

(7) 報告・連絡・相談（ホウレンソウ）を心がける。

3. 心構え

(1) 日常の訓練から自分に自信を持つ。

(2) 競技規則を守り、相手選手、審判に敬意を払いフェアプレーの精神を持つ。

(3) 選手として競技前、競技後の挨拶をしっかりと行う。特に握手をするときは、相手の目を見て、勝敗に関わらずしっかりと握手をすることを心がける。

4. 危機管理

(1) 自分の身の安全を確保するのは、自分自身である。

(2) 持ち物の管理は、しっかりと行う。

(3) 海外では、文化・宗教・習慣などの違いにより、日本の常識と異なる場合があることを理解し、言動には十分注意する。

5. アンチドーピング

(1) 居場所情報提出該当者は、提出された期日までに必ず提出すること。

(2) 薬を服用する場合は、必ずドクターに相談してから服用すること。

(3) 競技外検査（抜き打ち検査）は、いつでも実施される可能性があることを認識しておくこと。

6. 用具について

用具又は接着剤等はJTТА（日本卓球協会）公認の物を使用すること。

7. 犯罪行為について

一般的に犯罪と思える行為は取らないこと。（盗難行為・暴力行為・セクハラ行為・その他）

8. メディア対応

(1) インタビューを受ける際には、相手の目を見てはっきりした声で丁寧に答える。

(2) 勝敗に関わらず、対戦者への敬意、サポートしてくれた関係者への感謝の気持ちを忘れない。

(3) 試合結果がどのような状況でも冷静に対応する。

令和2年5月11日電磁式・書面式理事会にて承認済み、令和2年5月11日改訂、令和4年10月26日改訂